1) 🗆 🛨		等專門学校	₹ 開講年度 平成30年度 (2018年度) 月	受業科目	現代社会学 I
附日基	碰情報					
科目番号		04110		科目区分	一般 / 選択	₹
受業形態	ŧ	講義		単位の種別と単位数	学修単位:	2
開設学科				対象学年	4	
開設期				週時間数	2	
教科書/勃	書/教材 教科書は特に指定せず、講義はプリントに流ずれも1年次地理A・Bにて使用したもの)			ておこなう。/新詳高等	所詳高等地図、新編地理資料を必ず持参する事。(※い 	
旦当教員	•	田中 健	作			
到達目	標					
(イ)日本 (ウ)工業 (エ)日本 (オ)多文	と世界の資	源問題(食 ⁾ 生じる環境 の基礎を理! 礎を理解で:	をそれぞれ理解できる。 料、資源、エネルギー)の基礎を理解で 問題の基礎を理解できる。 解できる。 きる。 解できる。	きる。		
レーブ	リック					
			最低限の到達レベルの目安(優)	最低限の到達レベルの目安(良)		最低限の到達レベルの目安(不可)
現代社会における「関係」の理解			現代社会を取り巻く「関係」を踏 解 まえたうえで、よりよい社会づく りに向けて提案を行う。	現代社会を取り巻く「関係」を把握し理解する。		社会学における「関係」の基礎を 把握することができない。
現代社会における「影響」の理解			現代社会を取り巻く「影響」を踏 解 まえたうえで、よりよい社会づく りに向けて提案を行う。			社会学における「影響」の基礎を 把握することができない。
社会における「構造」の理解			現代社会を取り巻く「構造」を踏まえたうえで、よりよい社会づくりに向けて提案を行う。	現代社会を取り巻くは握し理解する。	 構造」を把	社会学における「構造」の基礎を 把握することができない。
学科の	到達目標」	項目との		•		
教育方	 法等					
概要		て具体化	題も数多くみられる。このような状況の ように生活を送るべきであるのか。_x0 基礎として、高度経済成長期以降の日本 別を挙げて講義する。講義に際しては、	5002 、 を中心に、人口問題、 社会学と地理学の視点を	環境問題、エネ で中心に考察を	にして、この別心なるとどうだ。 ドルギー問題、資源問題などについ を進めたい。
	め方・方法		式、ディスカッション、発表等。 容に該当する項目について、科目担当教		つ調べてくる?	でと、また、継続的に授業内容の復
授業の進 注意点	め万・万法	授業内	式、ディスカッション、発表等。 容に該当する項目について、科目担当教 うこと。	(員の薦める文献等で予 め	調べてくるこ	こと。また、継続的に授業内容の復
注意点	修の種別	授業内 習を行	容に該当する項目について、科目担当教 うこと。	 員の薦める文献等で予&	う調べてくるこ	こと。また、継続的に授業内容の復
主意点 選択必	修の種別	授業内 習を行	容に該当する項目について、科目担当教 うこと。	(員の薦める文献等で予 め)調べてくるこ	こと。また、継続的に授業内容の復
主意点 選択必	修の種別	授業内 習を行	容に該当する項目について、科目担当教 うこと。		う調べてくるこ	こと。また、継続的に授業内容の復
主意点 選択必	修の種別	授業内容を行・旧カリオ	容に該当する項目について、科目担当教うこと。 科目名 授業内容	週ご現代	<u>との到達目標</u> こおける社会	こと。また、継続的に授業内容の復
主意点 選択必	修の種別	授業内 習を行 ・旧カリ 週 1週	容に該当する項目について、科目担当教 うこと。 科目名 授業内容 現代社会学と地理学	週ご 現代 がで	との到達目標 こおける社会 きる。	と地域との結びつきを理解すること
主意点 選択必	修の種別	授業内容を行・旧カリオ	容に該当する項目について、科目担当教うこと。 科目名 授業内容	週ご 現代 がで 現代	との到達目標 こおける社会 きる。 社会学の基礎	と地域との結びつきを理解すること を理解することができる。
主意点 選択必	修の種別	授業内 習を行 ・旧カリ 週 1週	容に該当する項目について、科目担当教 うこと。 科目名 授業内容 現代社会学と地理学	週ご 現代 がで 現代 地理	との到達目標 こおける社会 きる。 社会学の基礎	と地域との結びつきを理解すること を理解することができる。 解したうえで、現代社会学との接点
主意点 選択必	修の種別	授業内 習を行 ・旧カリ 週 1週 2週	容に該当する項目について、科目担当教 うこと。 科目名 授業内容 現代社会学と地理学 現代社会学と地理学	週ご 現代 がで 現代 地理 を捉 食糧	との到達目標 こおける社会 きる。 社会学の基礎 学の基礎を理 えることがで 問題の全体像	と地域との結びつきを理解すること を理解することができる。 解したうえで、現代社会学との接点 きる。
主意点 選択必	修の種別	授業内 習を行 ・旧カリ和 週 1週 2週 3週 4週	容に該当する項目について、科目担当教 うこと。 科目名 授業内容 現代社会学と地理学 現代社会学と地理学 現代社会学と地理学 現代社会学と地理学	週ご 現代 がで 現代 地理 を捉 食糧 きる	との到達目標 こおける社会 きる。 社会学の基礎 学の基礎を理 えることがで 問題の全体像	と地域との結びつきを理解すること を理解することができる。 解したうえで、現代社会学との接点 きる。 を大企業の動きから捉えることがで
主意点 選択必	修の種別画	授業内 習を行 ・旧カリオ 週 1週 2週 3週	容に該当する項目について、科目担当教 うこと。 科目名 授業内容 現代社会学と地理学 現代社会学と地理学 現代社会学と地理学	週ご 現代がで 現代 地理 を捉 食糧 きる 食糧 えば	との到達目標こおける社会をある。 社会学の基礎を理えることができる。 問題の全体像に問題の全体像に問題のか提案	と地域との結びつきを理解することを理解することができる。 解したうえで、現代社会学との接点 きる。 を大企業の動きから捉えることがで けて社会がどのような取り組みを行 することができる。
主意点 選択必	修の種別画	授業内 習を行 ・旧カリ和 週 1週 2週 3週 4週	容に該当する項目について、科目担当教 うこと。 科目名 授業内容 現代社会学と地理学 現代社会学と地理学 現代社会学と地理学 現代社会学と地理学	週ご 現がで 現代で 現地を 食き 食糧 え 水保	との到達目標 こおける社会 きる。 社会学の基礎 学のることがで 問題の全体像 問題解決に向 よいのか提案 病の発生メカ	と地域との結びつきを理解することを理解することができる。 解したうえで、現代社会学との接点 きる。 を大企業の動きから捉えることがで けて社会がどのような取り組みを行 することができる。
主意点 選択必	修の種別画	授業内 習を行 ・旧カリ和 1週 2週 3週 4週 5週	容に該当する項目について、科目担当教 うこと。 科目名 授業内容 現代社会学と地理学 現代社会学と地理学 現代社会学と地理学 サア・日本の食糧問題 世界・日本の食糧問題	週ご 現代で 現代で 現世を 食き 食 え く と が で 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	との到達目標こおける社会を含める。社会学の基礎を理えることができる。 問題の全体像 問題解決に向まいのか提案 あの発生メカニ	と地域との結びつきを理解することを理解することができる。 解したうえで、現代社会学との接点 きる。 を大企業の動きから捉えることがで けて社会がどのような取り組みを行 することができる。
選択必受業計	修の種別画	授業内 習を行 ・旧カリオ 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週	容に該当する項目について、科目担当教 うこと。 科目名 授業内容 現代社会学と地理学 現代社会学と地理学 現代社会学と地理学 世界・日本の食糧問題 世界・日本の食糧問題 工業化の進展と環境問題 工業化の進展と環境問題	週ご 現代で 現代 地理 を 食き 食え く と が と が こ く と さ く と く く く く く く く く く く く く く く く	との到達目標こおける社会を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	と地域との結びつきを理解することを理解することができる。解したうえで、現代社会学との接点きる。を大企業の動きから捉えることがでけて社会がどのような取り組みを行することができる。 二ズムと地域社会の対応を捉えるこ 政策に与えた影響を理解する。
選択必授業計	修の種別画	授業内 習を行 ・旧カリオ 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週	容に該当する項目について、科目担当教 うこと。 科目名 授業内容 現代社会学と地理学 現代社会学と地理学 現代社会学と地理学 世界・日本の食糧問題 世界・日本の食糧問題 工業化の進展と環境問題	週ご 代で 現が 現 地を 食き 食え 水と 公 日こ 具 早こ 体	との到達目標こおけるというでは、 との到達目標による。 と会学をできる。 となるでは、 となりをできる。 となりでは、 となりでは、 となりでは、 となりでは、 できる。 というでは、 できる。 というでは、 というでは、 というでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	と地域との結びつきを理解することを理解することができる。解したうえで、現代社会学との接点きる。を大企業の動きから捉えることがでけて社会がどのような取り組みを行することができる。 二ズムと地域社会の対応を捉えることができる。 政策に与えた影響を理解する。 物処理と再資源化の全体像を捉える。
選択必授業計	修の種別画	授業内 習を行 ・旧カリオ 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	容に該当する項目について、科目担当教 うこと。 科目名 授業内容 現代社会学と地理学 現代社会学と地理学 現代社会学と地理学 世界・日本の食糧問題 世界・日本の食糧問題 工業化の進展と環境問題 工業化の進展と環境問題 ゴミ問題と資源循環型社会	週 現が 現 現	との到達目標 こおる。 せ会学基礎をが像 である。 との多るの全体をがました。 はいの発生のの全体をではいる。 はいの発生のでは、 はいの発生のでは、 ででは、 ででは、 ででないでは、 ででないでは、 ででないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	と地域との結びつきを理解することを理解することができる。解したうえで、現代社会学との接続きる。を大企業の動きから捉えることがでけて社会がどのような取り組みを行することができる。 二ズムと地域社会の対応を捉えることができる。 政策に与えた影響を理解する。 物処理と再資源化の全体像を捉える。
選択必授業計	修の種別 画 1stQ	授業内 習を行 ・旧カリオ 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週	容に該当する項目について、科目担当教 引こと。 科目名 授業内容 現代社会学と地理学 現代社会学と地理学 現代社会学と地理学 世界・日本の食糧問題 世界・日本の食糧問題 工業化の進展と環境問題 工業化の進展と環境問題 ゴミ問題と資源循環型社会 ゴミ問題と資源循環型社会	週 現が 現 地を 食き 食え 水と 公 日こ 具考 日が 新 エン はえ 本で エー	との到達目標 こおる。 社会学をが体 との多をがない。 はの多をでがない。 はいのでではないである。 はいのではないでなる。 かでではないでなる。 かでではないではないではないではないではないではないではない。 というではないではないではない。 はいのではないではないではない。 はいのではないではない。 はいのではないではない。 はいのではないではないではない。 はいのではないではない。 はいのではないではない。 はいのではないではない。 はいのではないではない。 はいのではないではない。 はいのではないではない。 はいのではないではない。 はいのではないではない。 はいのではないではない。 はいのではないではないではない。 はいのではないではない。 はいのではないではない。 はいのではないではない。 はいのではないではない。 はいのではないではない。 というではないではない。 というではないではないではない。 というではないではないではないではない。 というではないではないではないではないではない。 というではないではないではないではないではないではないではないではないではないではない	と地域との結びつきを理解することを理解することができる。解したうえで、現代社会学との接点きる。を大企業の動きから捉えることがでけて社会がどのような取り組みを行することができる。 二ズムと地域社会の対応を捉えることができる。 政策に与えた影響を理解する。 物処理と再資源化の全体像を捉える。 、再資源化に必要な社会の在り方をる。 オルギー問題の全体像を捉えること 及に向けた、国や地域の取り組みを
選択必受業計	修の種別画	世界 ・旧カリオ 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	密に該当する項目について、科目担当教 可こと。 科目名 授業内容 現代社会学と地理学 現代社会学と地理学 現代社会学と地理学 世界・日本の食糧問題 世界・日本の食糧問題 工業化の進展と環境問題 工業化の進展と環境問題 ゴミ問題と資源循環型社会 ゴミ問題と資源循環型社会 日本と世界の資源・エネルギー問題	週 現が 現 地を 食き 食え 水と 公 日こ 具考 日が 新理 日が 新理 田が 書 本と 体え 本で 工解	との到達目標 こまる。 との到達目標 こまる。 と会学基との全体をがよる。 は、ある。 のでも地はでいる。 でもないである。 かでなる。 でもないである。 でもないである。 でもないである。 でもないである。 でもないである。 でもないである。 でもないである。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 でき	と地域との結びつきを理解することを理解することができる。解したうえで、現代社会学との接点きる。を大企業の動きから捉えることがでけて社会がどのような取り組みを行することができる。 二ズムと地域社会の対応を捉えることができる。 政策に与えた影響を理解する。 物処理と再資源化の全体像を捉える。 、再資源化に必要な社会の在り方をる。 オルギー問題の全体像を捉えること 及に向けた、国や地域の取り組みを
主意点 選択必 受業計	修の種別 画 1stQ	授業内容を行います。 ・旧カリオ 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週	容に該当する項目について、科目担当教 うこと。 科目名 授業内容 現代社会学と地理学 現代社会学と地理学 現代社会学と地理学 世界・日本の食糧問題 世界・日本の食糧問題 工業化の進展と環境問題 工業化の進展と環境問題 ゴミ問題と資源循環型社会 ゴミ問題と資源循環型社会 日本と世界の資源・エネルギー問題 日本と世界の資源・エネルギー問題	週 現が 現 地を 食き 食え 水と 公 日こ 具考 日が 新理 日本	との到達目標 こきなうとの こきなうとである。 との引達をが、体にします。 でが、こが、ないで、ないで、ないで、ないで、ないで、ないで、ないで、ないで、ないで、ないで	と地域との結びつきを理解することを理解することができる。解したうえで、現代社会学との接点きる。を大企業の動きから捉えることがでけて社会がどのような取り組みを行することができる。 二ズムと地域社会の対応を捉えることができる。 政策に与えた影響を理解する。 物処理と再資源化の全体像を捉える。 、再資源化に必要な社会の在り方をる。 ネルギー問題の全体像を捉えること 及に向けた、国や地域の取り組みをきる。
選択必受業計	修の種別 画 1stQ	授業内 習を行 ・旧カリオ 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週	会に該当する項目について、科目担当教 うこと。 科目名 授業内容 現代社会学と地理学 現代社会学と地理学 現代社会学と地理学 世界・日本の食糧問題 世界・日本の食糧問題 工業化の進展と環境問題 工業化の進展と環境問題 ゴミ問題と資源循環型社会 ゴミ問題と資源循環型社会 日本と世界の資源・エネルギー問題 日本と世界の資源・エネルギー問題 人口問題と少子高齢化社会	週 現が 現 地を 食き 食え 水と 公 日こ 具考 日が 新理 日 多	との到達目標 こきなうとの こきなうとである。 対する。 対する。 対する。 対する。 対する。 対する。 対する。 対する。 対する。 対する。 対する。 対する。 対する。 対する。 対する。 対する。 がする。 は、 がする。 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	と地域との結びつきを理解することを理解することができる。解したうえで、現代社会学との接点きる。を大企業の動きから捉えることがでけて社会がどのような取り組みを行することができる。 二ズムと地域社会の対応を捉えることができる。物処理と再資源化の全体像を捉えることができる。 本ルギー問題の全体像を捉えることである。 なに向けた、国や地域の取り組みをきる。
選択必受業計	修の種別 画 1stQ	授業内 習を行 ・旧カリオ 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 11週	会に該当する項目について、科目担当教 うこと。 科目名 授業内容 現代社会学と地理学 現代社会学と地理学 現代社会学と地理学 世界・日本の食糧問題 世界・日本の食糧問題 工業化の進展と環境問題 工業化の進展と環境問題 ゴミ問題と資源循環型社会 ゴミ問題と資源循環型社会 日本と世界の資源・エネルギー問題 日本と世界の資源・エネルギー問題 人口問題と少子高齢化社会 人種とエスニシティ	週 現が 現 地を 食き 食え 水と 公 日こ 具考 日が 新理 日 多 ジェ	との到達目標 こきなうでは、 はいのでは、 でが、ないでは、 でが、ないでは、 でが、ないでは、 でが、ないでは、 でが、ないでは、 でが、ないでは、 でが、こびる、いで、のが、 しば、 でいて、 で	と地域との結びつきを理解することを理解することができる。解したうえで、現代社会学との接点きる。を大企業の動きから捉えることがでけて社会がどのような取り組みを行することができる。 二ズムと地域社会の対応を捉えることができる。 大の変に与えた影響を理解する。 物処理と再資源化の全体像を捉えることができる。 ネルギー問題の全体像を捉えることである。 ないましています。
主意点 選択必 受業計	修の種別 画 1stQ	世界では、 ・ 旧カリオー ・ 旧カリオー ・ 旧カリオー ・ 間週 1週 1週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 11週 11週 11週 11週 11	会に該当する項目について、科目担当教 うこと。 科目名 授業内容 現代社会学と地理学 現代社会学と地理学 現代社会学と地理学 世界・日本の食糧問題 世界・日本の食糧問題 工業化の進展と環境問題 工業化の進展と環境問題 工業化の進展と環境問題 ゴミ問題と資源循環型社会 コミ問題と資源循環型社会 日本と世界の資源・エネルギー問題 日本と世界の資源・エネルギー問題 人口問題と少子高齢化社会 人種とエスニシティ ジェンダーと性役割	週 現が 現 地を 食き 食え 水と 公 日こ 具考 日が 新理 日 多 ジェ	との到達目標 こきなうでは、 はいのでは、 でが、ないでは、 でが、ないでは、 でが、ないでは、 でが、ないでは、 でが、ないでは、 でが、ないでは、 でが、こびる、いで、のが、 しば、 でいて、 で	と地域との結びつきを理解することを理解することができる。解したうえで、現代社会学との接点きる。を大企業の動きから捉えることができる。とができる。とができる。 一ズムと地域社会の対応を捉えることができる。 一次のような取り組みを行することができる。 一次のと地域社会の対応を捉えることができる。 本ルギー問題の全体像を捉えることができる。 を理解することができる。 を理解することができる。 を理解することができる。
· 意点	修の種別 画 1stQ	接受を行う。 ・旧カリオー ・旧カリオー ・ 間週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 11週 11週 11週 11週 11週 11週 11	会に該当する項目について、科目担当教 うこと。 科目名 授業内容 現代社会学と地理学 現代社会学と地理学 現代社会学と地理学 世界・日本の食糧問題 世界・日本の食糧問題 工業化の進展と環境問題 工業化の進展と環境問題 工業化の進展と環境問題 ゴミ問題と資源循環型社会 コミ問題と資源循環型社会 日本と世界の資源・エネルギー問題 日本と世界の資源・エネルギー問題 人口問題と少子高齢化社会 人種とエスニシティ ジェンダーと性役割	週 現が 現 地を 食き 食え 水と 公 日こ 具考 日が 新理 日 多 ジェ	との到達目標 こきなうでは、 はいのでは、 でが、ないでは、 でが、ないでは、 でが、ないでは、 でが、ないでは、 でが、ないでは、 でが、ないでは、 でが、こびる、いで、のが、 しば、 でいて、 で	と地域との結びつきを理解することを理解することができる。解したうえで、現代社会学との接続きる。を大企業の動きから捉えることができる。で大企業の動きから捉えることができる。では、これと地域社会の対応を捉えることができる。では、再資源化に必要な社会の在り方をる。では、一間題の全体像を捉えることができる。を理解することができる。を理解することができる。
主意点 選択学計 期	修の種別 画 1stQ	接受を行う。 ・旧カリオー ・旧カリオー ・ 間週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 11週 11週 11週 11週 11週 11週 11	会に該当する項目について、科目担当教 引こと。 科目名 授業内容 現代社会学と地理学 現代社会学と地理学 現代社会学と地理学 世界・日本の食糧問題 世界・日本の食糧問題 工業化の進展と環境問題 工業化の進展と環境問題 工業化の進展と環境問題 コミ問題と資源循環型社会 コミ問題と資源循環型社会 日本と世界の資源・エネルギー問題 日本と世界の資源・エネルギー問題 人口問題と少子高齢化社会 人種とエスニシティ ジェンダーと性役割 まとめ	週 現が 現 地を 食き 食え 水と 公 日こ 具考 日が 新理 日 多 ジ こ れで 工解 本 文 エ れ	との到達目標 こきなうでは、 はいのでは、 でが、ないでは、 でが、ないでは、 でが、ないでは、 でが、ないでは、 でが、ないでは、 でが、ないでは、 でが、こびる、いで、のが、 しば、 でいて、 で	と地域との結びつきを理解することを理解することができる。解したうえで、現代社会学との接続きる。を大企業の動きから捉えることができる。で大企業の動きから捉えることができる。では、これと地域社会の対応を捉えることができる。では、再資源化に必要な社会の在り方をる。では、一間題の全体像を捉えることができる。を理解することができる。を理解することができる。
主選受が対対を対対を対対を対対を対対を対対を対対を対対を対対を対対を対対を対対を対対を	修の種別 画 1stQ 2ndQ	授業内容 日カリオ 日カリオ 日カリオ 日カリオ 日カリオ 日カリオ 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	会に該当する項目について、科目担当教育こと。 科目名 授業内容 現代社会学と地理学 現代社会学と地理学 現代社会学と地理学 世界・日本の食糧問題 世界・日本の食糧問題 工業化の進展と環境問題 工業化の進展と環境問題 工業化の進展と環境問題 ゴミ問題と資源循環型社会 ゴミ問題と資源循環型社会 日本と世界の資源・エネルギー問題 日本と世界の資源・エネルギー問題 人口問題と少子高齢化社会 人種とエスニシティ ジェンダーと性役割 まとめ の学習内容と到達目標	週 現が 現 地を 食き 食え 水と 公 日こ 具考 日が 新理 日 多 ジ こ れで 工解 本 文 エ れ	との到達目標 こきなうでは、 はいのでは、 でが、ないでは、 でが、ないでは、 でが、ないでは、 でが、ないでは、 でが、ないでは、 でが、ないでは、 でが、こびる、いで、のが、 しば、 でいて、 で	と地域との結びつきを理解することを理解することができる。解したうえで、現代社会学との接続きる。を大企業の動きから捉えることがでけて社会がどのような取り組みを行することができる。 二ズムと地域社会の対応を捉えることができる。物処理と再資源化の全体像を捉える。 本ルギー問題の全体像を捉えることができる。 なに向けた、国や地域の取り組みをきる。 基礎を理解することができる。 を理解することができる。 基礎を理解することができる。 基礎を理解することができる。
注意点 選択必 授業計 前期	修の種別 画 1stQ 2ndQ	授業内容 日カリオ 日カリオ 日カリオ 日カリオ 日カリオ 日カリオ 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	会に該当する項目について、科目担当教育こと。 科目名 授業内容 現代社会学と地理学 現代社会学と地理学 現代社会学と地理学 世界・日本の食糧問題 世界・日本の食糧問題 工業化の進展と環境問題 工業化の進展と環境問題 工業化の進展と環境問題 ゴミ問題と資源循環型社会 ゴミ問題と資源循環型社会 日本と世界の資源・エネルギー問題 日本と世界の資源・エネルギー問題 人口問題と少子高齢化社会 人種とエスニシティ ジェンダーと性役割 まとめ の学習内容と到達目標	週 現が 現 地を 食き 食え 水と 公 日こ 具考 日が 新理 日 多 ジ こ れで 工解 本 文 エ れ	との到達目標 こきなうでは、 はいのでは、 でが、ないでは、 でが、ないでは、 でが、ないでは、 でが、ないでは、 でが、ないでは、 でが、ないでは、 でが、こびる、いで、のが、 しば、 でいて、 で	と地域との結びつきを理解することを理解することができる。解したうえで、現代社会学との接続きる。を大企業の動きから捉えることがでけて社会がどのような取り組みを行することができる。 二ズムと地域社会の対応を捉えることができる。物処理と再資源化の全体像を捉える。 本ルギー問題の全体像を捉えることができる。 なに向けた、国や地域の取り組みをきる。 基礎を理解することができる。 を理解することができる。 基礎を理解することができる。 基礎を理解することができる。

基礎的能力	170	30	100
全吨円11677	170	130	1100